

令和5年度事業報告

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

令和5年度の発掘調査事業は、14事業34遺跡について調査班10班（職員20名）体制で実施した。内訳は、国土交通省高崎河川国道事務所所管の2事業5遺跡、県公共開発関連の12事業29遺跡となる。

国土交通省関連では、一般国道50号（前橋笠懸道路）建設事業に伴い、4月から3月にかけて柳田遺跡の他、中堀西遺跡、今井北原遺跡、社南遺跡の調査を行った（1）。調査地は前橋と伊勢崎の市境にある多田山丘陵東側にあたる。それぞれの遺跡では古墳時代から平安時代にかけての竪穴建物が多数発見されており、広く集落が展開していたことがわかった。社南遺跡では、南北に走る中・近世の大型の溝が発見されている。縄文・弥生時代の遺構は確認されていないが、今井北原遺跡と社南遺跡で旧石器時代の石器が発見された。

このほか、一般国道17号（綾戸バイパス）建設事業では、棚下込山遺跡（2）の調査を5月に実施し、縄文時代や古墳時代の土坑が発見された。

県公共開発関連事業のうち県土整備部関連では、西毛広域幹線道路や上信自動車道吾妻東バイパス、利根川河川改修という大型事業に伴う調査を継続している。県土整備部全体の調査月数104ヶ月のうち、約85%にあたる88.5ヶ月をこの3事業が占めている。

西毛広域幹線道路関連では、高崎工区で4遺跡、安中富岡工区で2遺跡の調査を実施した。高崎地区では、保渡田押出遺跡で古墳時代から平安時代にかけての多数の竪穴建物が発見されている。東側の三ツ寺鍛冶街道遺跡でも同時期の竪穴建物が見つかっており、広く集落が展開していた。保渡田押出遺跡ではこのほかに複数の道路状遺構が発見され、うち1つは地盤強化のための基礎工事の痕跡である波板状凹凸面が確認されている。一方、保渡田阿弥陀遺跡とその東側の保渡田坂詰遺跡では、紀元400年頃の浅間山（As-C）、6世紀初頭の榛名山（Hr-FA）、6世紀中頃の榛名山（Hr-FP）、天仁元年（1108年）の浅間山（As-B）の、それぞれの噴火に伴う火山碎屑物や泥流の下で水田跡を調査し、この地域で長きにわたり水田が営まれてきたことが確認できた（4）。安中地区の一本木遺跡ではAs-B下の水田と天明三年の浅間山噴火に伴う軽石（As-A）を除去した復旧坑を、霜田遺跡では縄文時代と古代の竪穴建物を調査した（6）。

上信自動車道では、東吾妻町で深沢遺跡他9遺跡の調査を行った（13）。縄文時代の遺構とし

ては、月夜野 A 遺跡で前期、柳沢遺跡と深沢遺跡では中期を中心とする竪穴建物が発見された。深沢遺跡、柳沢遺跡では弥生時代の竪穴建物も発見されている。古墳時代では深沢遺跡で古墳を 3 基調査したが、後世の改変により残存状況は悪かった。このほか、古墳時代から古代にかけての竪穴建物や掘立柱建物、土坑などが各遺跡で確認された。

利根川河川改修では、大きく 3 箇所で調査を実施した。いずれも天明 3 年の浅間山の噴火に伴う火山碎屑物 (As-A) と泥流に被覆されており、残存状況は良好であった。縄文時代は西上之宮遺跡で遺物包含層の調査を行ったが、明確な遺構は発見されなかった。古墳時代では、西上之宮遺跡で Hr-FA と Hr-FP 下の水田や古墳の周溝の一部を、東上之宮遺跡でも昨年度確認した古墳の南半部の調査を行った。古代では西上之宮遺跡で竪穴建物 16 棟を調査した。西上之宮遺跡、東上之宮遺跡では、平安時代末の As-B の堆積以降、中世から近世にかけて洪水による砂層に覆われた水田や畠跡が複数面で確認されている。また、全域で As-A 下の水田、畠、道等の調査を行った。東上之宮遺跡では、As-A 下で 3 棟の建物跡の他、多数の墓地を調査した。

このほかの県土整備部の事業としては、苗ヶ島飯土井線の前橋市 0327・前橋市 0367 遺跡(3)、3.6.10 号南北中央幹線の本宿遺跡・町北遺跡(5)、下栗須馬庭停車場線の 27 包蔵地(7)、下沢渡原町線の八幡原遺跡(9)、新巻市城線の柳沢遺跡(10)、昭和インター線の森下宮原遺跡(11)、3.4.11 号中央通り線の館林城跡・城下町遺跡(12) の調査を行った。これら 7 事業のうち 4 事業は道路拡幅に伴う調査で、現道脇の狭小な区画が調査対象であった。調査現場の安全対策に加え、通行車両と歩行者の安全を確保するために交通誘導員を配置するなど、安全管理に十分配慮しながらの調査となった。

このうち、森下宮原遺跡では 44 棟の竪穴建物を調査した。大半は古墳時代から古代の竪穴建物であったが、縄文時代、弥生時代に属するものが各 1 棟含まれていた。このほかに、旧石器時代の石器ブロックや礫群も発見されている。前橋市 0327・前橋市 0367 遺跡では、古墳時代の方形周溝墓を調査した。町北遺跡では、安中市教育委員会が近隣の旧安中高校校庭の調査で発見した東山道駅路の一部とみられる溝を確認した。

このほか、群馬県警の倉賀野交番建設事業に伴う倉賀野下樋越遺跡の調査を実施し、古代の竪穴建物 3 棟を確認した。

なお、上信自動車道の深沢遺跡で遺跡説明会を開催した(10月28日、84名)。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

(単位:千円)

区分	遺跡名		所在地	面積 m ²	受託費	委託者
前笠 道路	1	柳田遺跡ほか(3遺跡)	伊勢崎市野町他	17,169	286,922	国土 交通省
綾戸 バイパス	2	棚下込山遺跡	渋川市赤城町	365	9,217	
幹線交通関連 計				17,534	296,139	

イ 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

(単位:千円)

区分	遺跡名		所在地	面積 m ²	受託費	委託者		
県 公 共 開 発 関 連	3	前橋市0327遺跡ほか(1遺跡)	前橋市飯土井町	979	16,573	県 土 整 備 部		
	4	保渡田押出遺跡ほか(1遺跡)	高崎市三ツ寺町他	3,988	297,270			
		保渡田阿弥陀遺跡ほか(1遺跡)	高崎市保渡田町	5,395				
	5	本宿遺跡ほか(1遺跡)	安中市安中	1,929	33,096			
	6	霜田遺跡ほか(1遺跡)	安中市上間仁田他	7,240	82,301			
	7	27包蔵地	藤岡市下栗須	108	8,760			
	8	西上之宮遺跡ほか(2遺跡)	伊勢崎市西上之宮町他	31,594	505,246			
	9	八幡原遺跡	吾妻郡東吾妻町大字原町	537	8,798			
	10	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町大字原町	864	22,089			
	11	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下	4,071	132,020			
	12	館林城跡・城下町	館林市本町	239	21,749			
	13	深沢遺跡ほか(9遺跡)	吾妻郡東吾妻町川戸他	46,609	757,869			
	小計			103,554	1,885,771			
	14	倉賀野下樋越遺跡	高崎市倉賀野町	141	8,545	県警		
	小計			141	8,545			
公共開発関連 計				103,695	1,894,316			
発掘調査事業 合計				121,229	2,190,455			

(2) 埋蔵文化財発掘調査整理事業

令和5年度は、18事業46遺跡について整理を実施し、16冊の報告書を刊行した。実施した遺跡の内訳は、国交省関連で5遺跡、公共開発関連で41遺跡である。このうち、国交省関連では2冊の報告書、公共開発関連では上信道吾妻東バイパス関連や前橋長瀬線関連などで14冊の報告書を刊行した。

国交省関連では、国道50号前橋笠懸道路関連の柳田遺跡、多田山東遺跡、中堀東遺跡、中堀西遺跡の整理を実施した。多田山東遺跡は既調査部分について、報告書『多田山東遺跡(1)』を刊行した。多田山東遺跡は、古墳時代の大規模な区画遺構の発見で注目された遺跡であり、区画内の建物跡と区画遺構とともに、古墳時代～古代の集落について報告した。国道17号綾戸バイパス関連では棚下込山遺跡の整理を実施し、報告書『棚下込山遺跡』を刊行した。

県公共開発関連では、令和3年度から整理を継続していた前橋玉村線バイパス関連の前橋市0946遺跡、前橋市0635遺跡について、報告書『前橋市0946・0635遺跡』を刊行した。

利根川河川改修事業関連では、東上之宮遺跡、西上之宮遺跡、樋越薬師遺跡について通年で整理を実施し、令和6年度に継続する。西上之宮遺跡では、天明泥流と洪水層に埋もれた古墳群が注目されたほか、板碑や五輪塔などの多数の石造物が出土した中世墓群が発見されている。この中世墓群については、令和6年度に報告書刊行予定である。

西毛広域幹線道路(高崎工区)関連では、保渡田屋敷廻り遺跡について整理を実施し、報告書『保渡田屋敷廻り遺跡』を刊行した。保渡田押出遺跡・保渡田裸薬師遺跡・三ツ寺鍛冶街道遺跡、保渡田阿弥陀遺跡・保渡田坂詰遺跡については、通年で整理を実施し、令和6年度に継続する。西毛広域幹線道路(高崎安中工区)関連では、下里見番場遺跡について整理を実施し、報告書『下里見番場遺跡』を刊行した。西毛広域幹線道路(安中富岡工区)関連では、宮久保遺跡・中遺跡について整理を実施し、報告書『宮久保遺跡・中遺跡』を刊行した。

前橋長瀬線関連では、綿貫41遺跡他として整理を実施した街路事業部分について、『綿貫

堤西遺跡 綿貫堤遺跡 綿貫千葉西遺跡 岩鼻塚合遺跡 岩鼻延養寺遺跡 岩鼻天神遺跡
岩鼻赤城遺跡 岩鼻坂上北遺跡』として報告書を刊行した。

小平塩原線関連では、下谷戸B遺跡の整理を下半期に実施した。下谷戸B遺跡では調査例の稀少な縄文時代草創期の土器や石器の集中出土があり、令和6年度に整理を継続する。

桐生田沼線無電柱化事業関連では、令和4年度に整理を実施した桐生新町水路跡について、報告書『桐生新町水路跡』を刊行した。

大間々世良田線関連では、小仁田遺跡の整理を実施し、報告書『小仁田遺跡』を刊行した。

八瀬川堤防嵩上げ事業関連では、古戸諏訪遺跡の整理を実施し、報告書『古戸諏訪遺跡』を刊行した。

大川整備事業関連では、下田島遺跡の整理を実施し、報告書『下田島遺跡』を刊行した。

下栗須馬庭停車場線関連では、22包蔵地、27包蔵地の整理を実施し、『下栗須津島B遺跡(27包蔵地) 中栗須光明B遺跡(22包蔵地)』として報告書1冊を刊行した。

蚊沼川整備事業関連では、南蛇井北原田遺跡、蚊沼大神分遺跡の整理を実施し、『南蛇井北原田遺跡 蚊沼大神分遺跡』として報告書1冊を刊行した。

長久保郷原線関連では、土塩中原遺跡の整理を実施し、報告書『土塩中原遺跡』を刊行した。

昭和インター線バイパス関連では、森下宮原遺跡で古墳時代から古代を中心とする集落が検出されているが、令和4年度に引き続き通年で整理を実施した。令和6年度に整理を継続する。

上信自動車道吾妻東バイパス関連では、厚田中村遺跡、厚田橋詰遺跡、小田沢遺跡、下泉A遺跡、下泉B遺跡、川戸太田遺跡、天竜遺跡、小泉天神西遺跡の整理を実施し、『厚田中村遺跡(3)』、『川戸太田遺跡』の報告書2冊を刊行した。厚田橋詰遺跡は令和6年度に報告書刊行予定である。小田沢遺跡、下泉A遺跡、下泉B遺跡、天竜遺跡、小泉天神西遺跡については、令和6年度に整理を継続する。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者
前笠 道路	1 柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町		45, 960	国土 交通 省
	2 多田山東遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	『多田山東遺跡(1)』		
	3 中堀東遺跡	伊勢崎市野町			
	4 中堀西遺跡	伊勢崎市野町			
小計				45, 960	
綾戸 バイ パス	5 棚下込山遺跡	渋川市赤城町	『棚下込山遺跡』	10, 939	
	小計			10, 939	
幹線交通関連計			2冊	56, 899	

イ 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者
県 公 共 開 発 関 連	6 前橋市0946・0635遺跡	前橋市下佐鳥町・朝倉町	『前橋市0946・0635遺跡』	8, 568	県 土 整 備 部
	7 西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町			
	8 東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町			
	9 横越薬師遺跡	佐波郡玉村町			
	10 保渡田屋敷廻り遺跡	高崎市保渡田町	『保渡田屋敷廻り遺跡』		
	11 保渡田押出遺跡他2遺跡	高崎市保渡田町・三ツ寺町			
	12 保渡田阿弥陀遺跡他1遺跡	高崎市保渡田町			
	13 下里見番場遺跡	高崎市下里見町	『下里見番場遺跡』	6, 271	
	14 綿貫41遺跡他7遺跡	高崎市綿貫町・岩鼻町	『綿貫堤西遺跡 綿貫堤遺跡 綿貫千葉西遺跡 岩鼻塚合遺跡 岩鼻延養寺遺跡 岩鼻天神遺跡 岩鼻赤城遺跡 岩鼻坂上北遺跡』	20, 998	
	15 下谷戸B遺跡	みどり市大間々町		11, 931	
	16 桐生新町水路跡	桐生市本町	『桐生新町水路跡』	1, 824	
	17 小仁田遺跡	みどり市笠懸町	『小仁田遺跡』	14, 415	
	18 古戸諏訪遺跡	太田市古戸町	『古戸諏訪遺跡』	3, 538	
	19 下田島遺跡	太田市下田島町	『下田島遺跡』	12, 239	
	20 藤岡22・27包蔵地	藤岡市下栗須・中栗須	『下栗須津島B遺跡(27包蔵地) 中栗須光明B遺跡(22包蔵地)』	11, 122	
	21 土塩中原遺跡	安中市松井田町	『土塩中原遺跡』	3, 459	
	22 宮久保遺跡・中遺跡	安中市上間仁田	『宮久保遺跡・中遺跡』	21, 796	
	23 南蛇井北原田遺跡他1遺跡	富岡市南蛇井	『南蛇井北原田遺跡・ 蚊沼大神分遺跡』	16, 909	
	24 森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下		19, 712	
	25 厚田中村遺跡	吾妻郡東吾妻町厚田	『厚田中村遺跡』	105, 654	
	26 厚田橋詰遺跡	吾妻郡東吾妻町厚田			
	27 小田沢遺跡他2遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			
	28 川戸太田遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	『川戸太田遺跡』		
	29 天竜遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸			
	30 小泉天神西遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉			
公共開発関連計			14冊	373, 134	
整理事業費合計			16冊	430, 033	

(3) 普及啓発事業

令和5年度当初は、前年度に引き続いての新型コロナウイルス感染症への感染症対策を講じ、発掘情報館の開館を続けたが、制限が解除された5月8日(月)以降は、展示室、図書室、研修室についてはコロナ禍前の状態に戻した。但し、体験学習室での古代体験については、新型コロナウイルス感染症が完全に滅失したわけではなく、子どもを中心に様々な感染症がみとめられる状況を考慮して、予約制を継続し、午前・午後それぞれ6組・24名を定員として実施した。

受託事業では、最新情報展については、前年度から継続した令和4年度第2期「まるごと金井遺跡群－榛名に生きた古墳人－」（令和5年2月19日(日)～8月27日(日)）を経て、令和5年度第1期「高崎市本郷遺跡群－古代寺院と榛名山信仰－」（令和5年10月30日(日)～令和6年1月28日(日)）、第2期「東吾妻の弥生～古墳時代の集落と墓－四戸遺跡・四戸の古墳群・新井遺跡の発掘調査から－」（令和6年2月18日(日)～令和6年5月19日(日)）を開催。関連企画として開催した当事業団職員による講演会は、前年度第2期に関連して5月28日(日)に「金井東裏遺跡の記憶」（来場者32人）、6月18日(日)に「金井下新田遺跡の奇跡」（来場者42人）、今年度第1期では令和6年1月14日(日)に「高崎市本郷遺跡群－発掘調査から明らかになった古代寺院の姿－」・「古代～中世前期にかけての榛名山信仰の展開と上野国衙」（来場者50人）、第2期では3月17日(日)に「東吾妻の弥生から古墳時代の集落と墓の変遷と特徴～四戸遺跡・四戸の古墳群・新井遺跡の発掘調査から分かったこと～」（来場者25人）をそれぞれ開催した。

埋蔵文化財専門講座（教員対象：8月2日(水)・8月3日(木)・8月4日(金)、行政担当者対象：令和6年1月23日(火)・1月25日(木)・1月30日(火)）は、コロナ禍前の日数、講座数で開催した。夏休み親子宿題教室（7月21日(金)～8月16日(水)）は予約制・定員6組24人とし、体験メニューはコロナ禍前に復して実施し、796名の参加者があった。なお、定員を大きく超える希望者があったため、期間終了後も8月末まで予約を継続して実施した。通年事業の出土遺物保存管理業務、資料利用と資料借用業務については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を心掛けながら通常通り実施した。令和5年度の発掘情報館来館者数は6,019人、うち日曜開館の来館者は1,547人であった。群馬県所蔵出土遺物の3D計測によるアーカイブ化事業については3か年内の2年目で、弥生土器を中心に30点の3Dデータを構築した。

自主事業では、ぐんま考古学講座を創立45周年記念講演会を兼ねて令和5年9月30日(土)に実施した。名古屋市立大学教授・奈良大学特任教授の千田嘉博先生をお招きし「埋蔵文化財と城郭考古学」と題した講演会を高崎市文化会館で開催し、449名の来場者があった。ぐんま遺跡報告会を7月9日(日)に開催し、三ツ寺鍛冶街道遺跡・天竜遺跡・阿左美遺跡、八ッ場ダム調査の建築材の4件について報告が行われ、48名の来場者があった。体験学習については、年度当初は前年度からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う制限を継続し、予約制で定員は6組12人、体験メニューは勾玉づくりと土器づくりに限定。制限が解除された5月8日以降は予約制で6組24名、体験メニューはコロナ禍前に復して実施した。このほか、県内の学校への古代体験学習の出前授業は11件、来訪しての体験学習が3件あった。職場体験は地元北橘中学校の生徒2名を6月14日(水)から16日(金)まで受け入れ、また高校インターンシップとして県立高崎北高等学校生徒5名を10月25日(水)から28日(金)に高崎市の保渡田押出遺跡で受け入れて発掘体験等をおこなった。大人のための冬の古代体験教室を令和6年1月16日(火)から3月6日(水)にかけて実施し、24名の参加者があった。まいぶん出前講座では4件の依頼があり、当事業団職員を派遣した。更に45周年事業の一環として、収蔵展示室の基準展示コーナー全体と収蔵展示コーナーの一部について、平成17年に同展示室を整備して以来初の展示遺物の本格的リニューアルを行った。作業は6月から10月にかけ、展示公開しながら順次着手し、10月28日(土)公開普及デーに合わせてオープンした。その後、引出展示の改訂を進め、年度末には収蔵展示室展示パンフレットも新たに作成した。

ア 委託事業（委託者：群馬県地域創生部）

(ア) 普及活動等 受託費：24,440千円

①展示普及(展示普及一般・普及啓発嘱託員設置) 普及啓発活動のための嘱託職員1名の配置を継続した。

②最新情報展・関連企画

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テマ
最新情報展		発掘情報館		遺跡の発掘・整理成果を展示公開
(令和4年度) 第2期展示	令和5年2月19日(日) ～8月27日(日)	資料展示室	2,073人 (4/1-8/27)	「まるごと金井遺跡群—榛名に生きた古墳人一」
(令和5年度) 第1期展示	令和5年10月30日(日) ～令和6年1月28日(日)	資料展示室	1,071人	「高崎市本郷遺跡群—古代寺院と榛名山信仰一」
第2期展示	令和6年2月19日(日) ～5月19日(日)	資料展示室	578人 (2/19-3/31)	「東吾妻の弥生～古墳時代の集落と墓」
関連企画	期 間	場 所	参加者	テマ・講師(当事業団職員)
(令和4年度) 第2期展示講演会	令和5年5月28日(日) 13:30～15:00	発掘情報館	32人	「金井東裏遺跡の記憶」講師：都木直人
	令和5年6月18日(日) 13:30～15:00	研修室	42人	「金井下新田遺跡の奇跡」講師：山中 豊
(令和5年度) 第1期展示講演会	令和6年1月14日(日) 13:30～15:30	発掘情報館 研修室	50人	「高崎市本郷遺跡群—発掘調査から明らかになった古代寺院の姿ー」講師：斎藤 聰 「古代～中世前期にかけての榛名山信仰の展開と上野国衙」講師：飯塚 聰
第2期展示講演会	令和6年3月17日(日) 13:30-15:00	発掘情報館 研修室	25人	「東吾妻の弥生から古墳時代の集落と墓の変遷と特徴～四戸遺跡・四戸の古墳群・新井遺跡の発掘調査から分かったこと」講師：杉山秀宏

③埋蔵文化財専門講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テマ
教員コース	令和5年8月2日(水) ～8月4日(木)	発掘情報館内各施設等・研修室／三ツ寺鍛冶街道遺跡	12人	「授業に活かすぐんまの遺跡」 埋蔵文化財の調査成果を学校の歴史学習や地域学習等に活用するための講座。1日は発掘体験実習(8/4三ツ寺鍛冶街道遺跡)
行政コース	令和6年1月23日(火)・ 24日(水)、30日(火)	発掘情報館内各施設・ 収蔵展示室・研修室	25人	市町村教育委員会の文化財担当者を対象とした考古学・埋蔵文化財の基礎知識や最新の研究成果、文化財保護及び埋蔵文化財の動向等を習得する講座

④夏休み親子宿題教室

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テマ
夏休み親子宿題教室	令和5年7月21日(金) ～8月16日(水)	発掘情報館 体験学習室	796人	夏休み期間中に小・中学生を中心に土器や勾玉作り等、土器やハニワの写生を実施。期間中の入館者は1,245人

⑤出土遺物保存管理

事 項	概 要
遺物管理台帳作成	○作成遺跡 桐生新町水路跡/前橋市0946・0635遺跡/土塩中原遺跡/保渡田屋敷廻り遺跡/下里見番場遺跡/下田島遺跡/古戸諏訪遺跡/多田山東遺跡/下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)/南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡/小仁田遺跡/綿貫堤西遺跡・綿貫堤遺跡・綿貫千葉西遺跡・岩鼻塚合遺跡・岩鼻延養寺遺跡・岩鼻天神遺跡・岩鼻赤城遺跡・岩鼻坂上北遺跡/棚下込山遺跡/川戸太田遺跡/宮久保遺跡・中遺跡/厚田中村遺跡(3) ※この台帳をもとに、収蔵庫内の遺物の管理や活用を行っている。

⑥出土遺物の3Dアーカイブ化

事 項	期 間	場 所	対象遺物	概 要・テマ
出土遺物の3Dアーカイブ化	令和5年5月1日(月) ～令和6年2月29日(木)	発掘情報館 遺跡情報室	30点 (弥生土器)	群馬県所蔵の出土遺物の3Dアーカイブ化を行い、埋蔵文化財に対するより具体的な理解を図り普及活用に寄与する。3年計画の2年次

(イ) 施設管理 受託費：15,417千円

群馬県埋蔵文化財調査センター施設の維持管理

(ウ) 金井遺跡群出土品調査整理 受託費：2,880千円

金井遺跡群出土品の国指定に向けての調査整理

イ 自主事業 事業費：5,152千円

①ぐんま遺跡報告会

事 項	期 間	場 所	参加者	テマ・講師（当事業団職員）
ぐんま遺跡報告会	令和5年7月9日(日)	発掘情報館 研修室	48人	三ツ寺鍛冶街道遺跡(高崎市)／今城 未知
				天竜遺跡(東吾妻町)／追田 瞳生
				ハツ場天明泥流下調査(長野原町)／板垣泰之
				阿左美遺跡(みどり市)／橋本 淳

②一般普及事業

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テマ
公開普及デー(県民の日記念事業)	令和5年10月28日(土)	本館・発掘情報館・調査研究館・収蔵庫	96人	発掘情報館の各展示室の公開、予約制で古代体験学習とバックヤードツアーを実施
大人のための冬の古代体験教室	令和6年1月16日(火) ～3月6日(水)	体験学習室	24人	アンギン編み・ミニチュアレプリカ作り・銅鏡レプリカ作り・トンボ玉作りを予約制で実施

③発掘調査現地説明会等

遺 跡 名	期 間	場 所	参 加 者	概 要
深沢遺跡	令和5年10月28日(土)	東吾妻町川戸	84人	縄文時代の集落跡等

ウ その他の事業 事業費：1,713千円

①ぐんま考古学講座(従来の調査遺跡発表会と公開考古学講座を統合して実施)

事 項	期 間	場 所	参 加 者	講 師
ぐんま考古学講座(創立45周年記念事業)	令和5年9月30日(土)	高崎市文化会館	449人	【講演】「埋蔵文化財と城郭考古学」 【講師】名古屋市立大学教授・奈良大学特任教授

エ 施設利用状況等

項 目	概 要						
	区 分	件 数			点 数		
		4 年 度	5 年 度	比 較	4 年 度	5 年 度	
資料の利用状況	利 用	76件	80件	4件	3,329点	16,876点	
	貸 出	196件	107件	△89件	4,190点	2984点	
	体験学習機材貸出	1件	2件	1件	-	-	
見学・体験学習	区 分	件 数			人 数		
		4 年 度	5 年 度	比 較	4 年 度	5 年 度	
		学校等団体	2件	8件	6件	108人	331人
		その他団体	6件	4件	△2件	94人	95人
土器作り等の指導派遣等	区 分	件 数			生 徒 数		
		4 年 度	5 年 度	比 較	4 年 度	5 年 度	
		学校等〔出前授業〕	8件	11件	3件	428人	609人
		一 般 〔出前講座〕	1件	0件	△1件	52人	0人
図書業務	区 分	件 数			人 数		
		4 年 度	5 年 度	比 較	4 年 度	5 年 度	
		書籍等貸出	2,571冊	1,981冊	△590冊	300人	308人
		図書受入	2,132冊	3,025冊	893冊	-	-

項目	概要			
	区分	件数		
保存処理業務		4年度	5年度	比較
木器関係の保存処理	97点	355点	258点	
木器関係のプレパラート作成	0点	0点	0点	
木器関係の実測	14点	74点	60点	
木材樹種同定	0点	1点	1点	
金属器の鋳落とし	814点	598点	△216点	
X線写真撮影	790点	624点	△166点	
赤外線写真撮影	1点	2点	1点	
土層剥取	0点	2点	2点	
遺物の取り上げ	0点	0点	0点	
金属・木・竹製品修復	79点	69点	△10点	
特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	98点	1点	△97点	
市町村技術援助	32件	6点	△26件	
発掘情報館業務	区分	件数		
		4年度	5年度	比較
	入館者(年間)	3,472人	6,019人	2,547人
	夏休み親子宿題教室(夏休み期間)(再掲)	215人	796人	581人
職場体験学習等	6月14日(水)～16日(金) 渋川市立北橘中学校生徒2人			
	10月25日(火)～10月28日(金) 県立高崎北高等学校1年生生徒5人			
情報誌の刊行	「埋文群馬」No.68の刊行 (pdfファイルを事業団ホームページで公開)			
研究紀要の刊行	「研究紀要」42号の刊行			

才 マスコミ取材

メディア	取材・撮影	内容	備考
読売新聞社	令和5年2月22日(水)	最新情報展「まるごと金井遺跡群・榛名に生きた古墳人-」取材	令和5年4月11日 (火)Web上、12日(水) 地方版掲載
群馬テレビ	令和5年5月12日(金)	群馬テレビ「ぐんま！トリビア図鑑」第326回において、最新情報展「まるごと金井遺跡群・榛名に生きた古墳人-」をテーマとした番組制作のためのロケ実施	[放送] 6月6日 (火)21:00-21:15
群馬テレビ	令和5年5月28日(日)	最新情報展「まるごと金井遺跡群・榛名に生きた古墳人-」関連講演会「金井東裏遺跡の記憶」(講師:都木直人専門調査役)の取材	[放送] 当日18:00 ～18:20サンデイ ニュースジャスト
群馬テレビ	令和5年7月9日(日)	令和5年度「ぐんま遺跡報告会」の取材	[放送] 当日18:00 ～18:20同上
上毛新聞社	令和5年7月19日(水)、7月27日(木)	事業団創立45周年記念事業についての取材。事業の内容、特に収蔵展示室リニューアルを中心に取材	8月20日(日)報道
上毛新聞社	令和5年9月30日(土)	創立45周年記念講演会(講師:名古屋市立大学教授千田嘉博氏)についての取材	10月1日(日)報道
群馬よみうり「たうんぐんま」	令和5年11月2日(木)	読売新聞の地域情報誌「タウンぐんま」の連載記事「群馬を学ぶ」「群馬の名所探訪」シリーズで発掘情報館を紹介	11月17日(金)発行

◆連載・特集記事、ぐんま広報・県観光公式サイト等

読売新聞社(連載) 「集まれ！群馬のはにわ」	令和3年度～令和5年度 (地方版・毎週連載・県内各所蔵館職員分担)	群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する埴輪の中から連載対象となった埴輪について、当事業団職員(総勢14名)が分担執筆し、令和5年度末をもって終了。5年度は8名が執筆	掲載日: 6/30、9/1、9/29、10/20、12/1、1/19、2/23、3/15
上毛新聞社(連載) 「県埋蔵文化財調査事業団 発掘2023」	令和6年3月から年度を跨いで6遺跡掲載	2023年に行った6遺跡の発掘調査の最新情報を調査担当職員が分担執筆。5年度は2遺跡(館林城跡・城下町、天竜遺跡)掲載。6年度上期に残り4遺跡掲載予定	掲載日: 3/4(館林)、3/25(天竜)
上毛新聞社(特集) 「マニアアカデミア」	令和5年8月取材	専門的な仕事や特殊な趣味などを極める人々を取り上げた連載(不定期)の特集記事「マニアアカデミア」に、古墳時代を専門とする当事業団職員(今城未知専門員)掲載	8月28日(月)掲載
ぐんま広報(特集)	令和5年7月2日号掲載	当事業団設立45周年記念特集が組まれ、見開き2頁掲載	担当:県庁メディアプロモーション課
群馬県観光公式ウェブサイト「心にググっと観光ぐんま」	令和6年2月5日取材	群馬県の魅力発信に向けて県が募集し(11/28)選んだ「ぐんま観光県民ライター」(ぐん記者)が県内を取材し県公式観光サイトに記事掲載。2/5取材来訪。4/11に同サイトに掲載	担当:県庁産業経済部観光魅力創出課 国内誘客係